

SDGsの取り組みを発表

セイリョウライン WEBセミナーで

【愛知】セイリョウ

ウライン（大府市）の幣旗貴行社長はこのほど、運輸デジタルビジネス協議会と三井住友海上火災保険の共同開催によるWEBセミナーで、自社のSDGsの取り組みを発表した。同セミナーでは同社をはじめ3社が登壇。「バッジを見てSDGsに興味を持った」という同氏



幣旗社長

はきっかけから導入に至るまでを語り、社内における実際の活動事例を挙げた。メインバンクがSDGsを推進していたこともあり、協力

を得られた同氏は方針を固めていくうえで苦労したことの一つに「各項目のマッチング作業」を挙げ、「メインバンクに相談することですピー

デイに行うことができた」と話す。また、気づいた点として「参加するメンバーが多ければ多いほど実施後の浸透力が高くなる」とし、外部の力と社員の協力がプロジェクト化への道筋につながったことを強調した。

「企業の努力が反映できること」「世界につながる」「毎日実践できること」を活動の軸としている同社。ペットボトルのキャップを集めてポリオワクチンに変えるエコキャップ運動もその一つで、「小さな効果しか得られないが、毎日の行動の中でSDGsを感じられることが大切。途切れることなく2030年まで続けば、その先も続けられる」と語り、同活動やDX化がブランドやDX化がブランドやDX化が推進力になることに言及。「SDGsは資格でもなければ外部認証でもない。どう進めればよいかかわからない会社もあると思うので、この発表が参考になれば」とセミナーの意義にふれた。（富田 香）